

生涯学習を取り巻く社会的背景

- 雇用問題
- 家庭の教育力の低下
- 地域の教育力の低下
- 高齢化及び2007年問題への対応
- 地域社会の活力の低下

現状と課題

1. 学習機会について

- ・子育て期にある人に対する家庭教育やしつけに関する事業の充実が望まれている。
- ・生涯学習活動に参加しやすい休日や夜間の講座が少ない。
- ・講座を終了した後の継続した支援体制が整っていない。
- ・学習のきっかけがつかめない人がいる。
- ・団塊の世代の生きがいがづくりや活躍の場が必要である。
- ・各年代と通じて、趣味や芸術、健康増進、スポーツに対する学習希望が多くなっている。

2. 学習を通じた交流について

- ・公民館、ふれあいセンターの講座受講者の交流の場が少ない。
- ・講師や指導者に関する情報や活躍の場が不足している。
- ・世代間交流や地域交流などが少なくなっている。
- ・生涯学習を通じて、家庭や地域の教育力の向上に向けた取り組みが必要である。

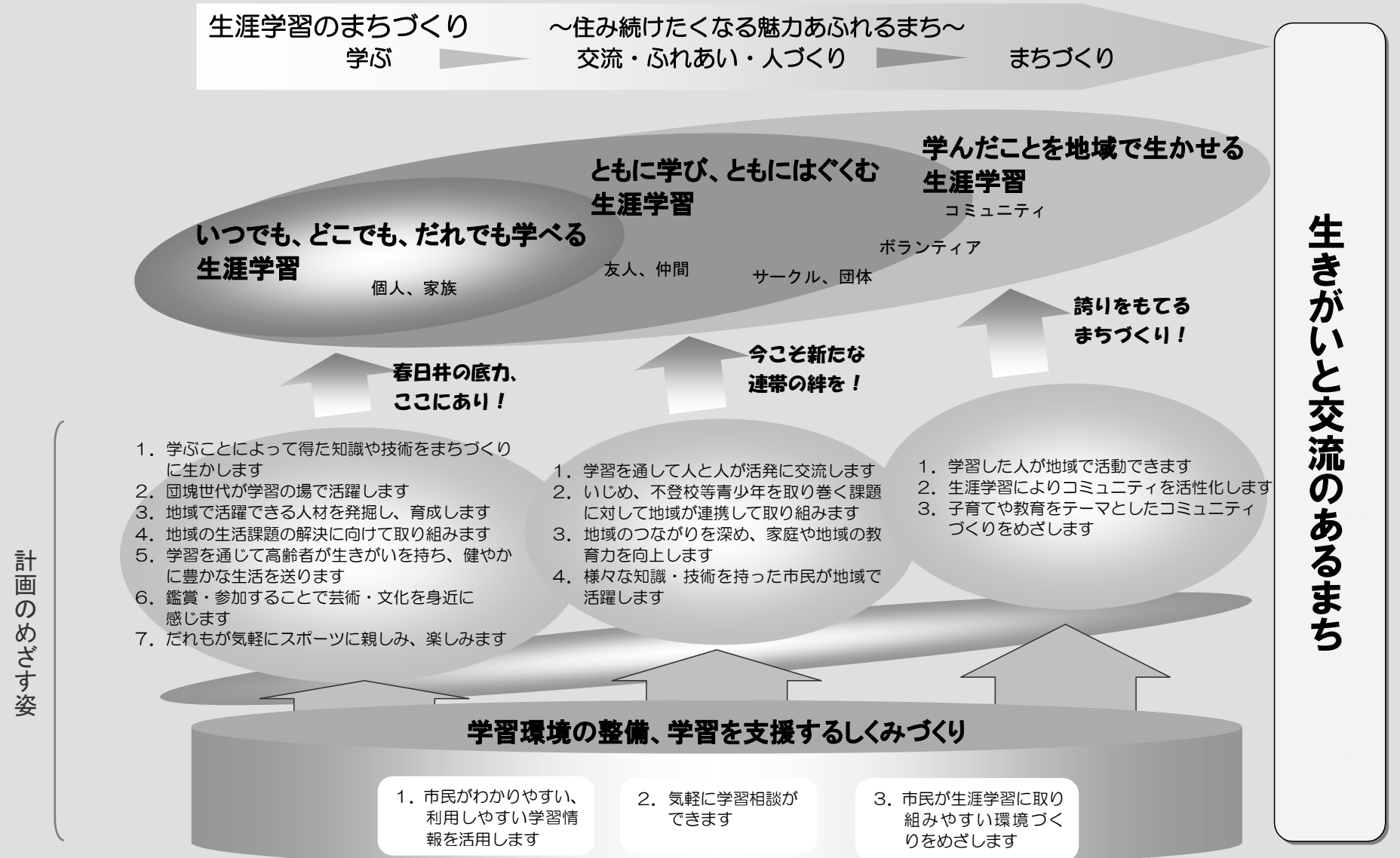
3. 学習を地域で生かすことについて

- ・社会環境の変化により、人と人の連帯感が薄れている。
- ・学習成果をまちづくりや地域の活性化に生かす必要がある。

4. 学習を支える環境について

- ・「市の講座の内容や開催状況」「施設の内容や開設状況」「サークルの活動状況や入会方法」に対する情報や相談の場が求められている。
- ・学習のきっかけをつかむためのわかりやすい情報がほしい。等

春日井市生涯学習推進計画「構想図」



計画の実現に向けての「主な施策」と「具体的な取り組み」

いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

- 各年代に応じた学習内容を充実します。
乳幼児期：
・核家族化や少子化への対応として、子育てに関する知識や技術を身につけるための学習内容と学習機会を充実します。
青少年期：
・ボランティア活動等にかかわる機会を充実し、青少年の社会参加を推進します。
成人期、高齢期：
・団塊の世代を講師として活用し、講座を開催します。
・地域の福祉や環境などの生活課題に対する学習を進め、地域の課題解決に取り組みます。
- 土曜、日曜、祝日および夜間の講座を充実します。
- 障害のある人や高齢者向けの講座を充実します。
・障害のある人が参加できる通信講座を開発します。
・情報化や国際化に代表される社会の変化に対応できる知識を身につけるための学習を提供します。
- 芸術や文化に触れ、趣味や創作活動に生かせる環境をつくります。
・公民館など生涯学習施設において、芸術文化に関する講座を充実します。
- 市民の健康づくりや生きがいがづくりのため、各年代に対応した生涯スポーツ活動を支援します。
・文部科学省のスポーツ振興基本計画に基づく総合型地域スポーツクラブの設立を支援します。

ともに学び、ともにはぐくむ生涯学習

- 地元の研究、教育機関との連携を強化します。
・熟年大学、大学連携講座を充実します。
- 地域の交流活動を推進します。
・子どもの健全育成のため、学校や公民館等を放課後や週末開放し、地域の人材を積極的に活用し、事業への参画を促し、体験学習や交流活動を実施します。
・地域住民を対象とした歴史講座や世代間交流事業を実施します。
- ボランティア活動を通じた交流を推進します。
・ボランティアとして活躍する人材などを育てるために講座・教室の開催などを行い、ボランティア活動への支援を図ります。
- グループ、サークルの交流を図ります。
・公民館など生涯学習施設で活動している団体の情報を広く市民に提供するとともに、グループ・サークル等の交流を推進します。
- 人材の組織化への支援
・学習を支援する人材を発掘し、組織として自主運営できるよう学習機会の提供などの支援を行います。

学んだことを地域で生かせる生涯学習

- 区・町内会、PTA、子ども会、老人クラブ等の特色を生かした体験・ボランティア活動、スポーツ等を通し、まちづくりを支援します。
・地域で様々な活動を行っている活動団体の交流の場を提供し、団体間のネットワークを構築し、地域のまちづくりへつなげます。
- 防犯防災の関係機関と連携・協力し、安全・安心のまちづくりを推進します。
・防災意識や防火意識、交通安全意識の高揚のための学習機会の充実、応急手当に関する知識・技術のための学習を充実します。
- 市民の様々な学習を通じて、地域コミュニティを活性化します。
・住民主体による福祉や環境など生活課題の解決に向けた学習の企画、運営を支援します。
・地域における生涯学習を推進するリーダーを育成し、指導者に求められる資質・能力を開発し、基礎的・専門的知識を学ぶ講座を開発します。
・生涯学習について企業に対して普及啓発し、学習機会を充実するとともに高等教育機関と連携し、リカレント教育の充実を図ります。
・就業意欲の向上に向けて、働く意欲や能力を高める学習の場を提供します。

学習環境の整備、学習を支援するしくみづくり

- 講座窓口を一元化します。
・公民館、ふれあいセンターなど各館が別々に企画している講座の管理をまとめ、開催する曜日、時間、講座の種類等を利用しやすい、重複しないプログラムを作成します。
- 新たな情報誌を発行します。
・市民が見やすい広報誌やパンフレットなどの一層の充実を図ります。
- IT等を活用した情報提供を進めます。
・インターネットや携帯電話、ケーブルテレビの活用など学習者の立場に立った情報提供手段により情報を提供します。
・生涯学習情報、市民生活情報、防犯防災情報など市民が必要とする情報がいつでもすぐ簡単に提供できるよう市のホームページを充実します。
- 相談窓口を新設します。
・生涯学習を始める人にとって、どのような学習機会を選択し、継続的に学習できるか助言してくれる、市民が気軽に利用できる相談窓口を設置します。
・市民の学習相談に十分対応できる職員の養成と活用を図ります。
- 施設利用予約システムを導入します。
・スポーツ施設や文化施設を予約する場合に必要な空き情報の確認や予約手続きがインターネットや携帯電話を利用してできる情報ネットワークシステムを導入します。

生きがいと交流のあるまち